

1学年総合的な学習の時間：「来年度入学してくる生徒に、川越と東久留米市の良さを紹介しよう。」

9/6~11/28
(9時間)

連携先：なし

ねらい：校外学習を通して見つけた「川越の良さ」から、改めて「東久留米の良さ」を考え、見つけることができる。

- 自己有用感を高める
- 他者と協働する力を高める
- 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- 様々な活動に意欲的に参加できるようになる



課題設定

- ①川越の施設調べのレポートを作成し、名所等について知る。
- ②「来年度入学してくる生徒に、川越と東久留米市の良さを紹介する。」というシチュエーションに対し、どんなことを伝えるのが良いかを考える。

情報収集

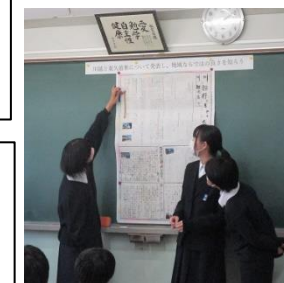
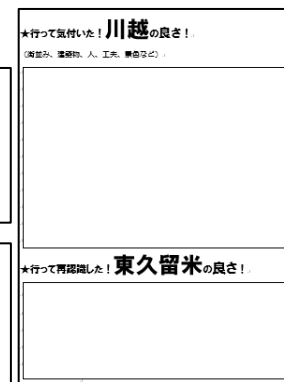
- ①情報収集を行う。
→右図のワークシート内に、校外学習当日に集めた情報を記す。その他にも、来年度入学してくる生徒にとって参考になることもメモを取らせる。

整理・分析

- ①新聞のレイアウトと分担を決める。
→班で相談しながら、記事の内容やどんなレイアウトとするかを決め、各記事の分担を決める。

まとめ・表現

- ①新聞を作成し、班ごとに発表（各班5分程度）
→聞き手は、来年度入学してくる生徒の目線で感想を記入する。
- ②発表活動の振り返りを行う。
(ポートフォリオを活用し、生徒の成長を可視化する。)



成果

- ・デジタルではなく模造紙にまとめることにより、イラストが得意な生徒や色分けなどの装飾が得意な生徒の自己有用感の向上につながった。
- ・記事の内容や分担決め等、班員と協力して作業を進める機会を多く設けたことで、生徒の他者と協働する力が高まった。

課題

- ・「川越や東久留米市の良さ」を知ることによって留まってしまっているため、次回は、「その良さの理由」や「なぜその良さが続いているのか」まで探究させ、より生徒の物事の見方や視野が広がるように工夫する。